

第 25 回 木津川上流河川環境研究会

議事要旨

【開催概要】

開催日時： 平成 26 年 8 月 4 日(月曜) 15:00～17:00

開催場所： ホテルセントノーム 京都 2階 貴船

【出席者】

委員： 7名

事務局： 木津川上流河川事務所 6名

オブザーバー： 水資源機構関西支社 2名

木津川ダム総合管理所 1名

【議事次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - (1) 木津川上流河川環境研究会について
 - ・これまでの検討経緯の確認
 - ・前回 第 24 回研究会指摘対応の確認
 - (2) 堰・魚道 連続性再生検討
 - ・縦断連続性再生検討： これまでの検討結果と本年度調査・検討方針、調査結果速報
 - ・横断連続性再生検討： これまでの検討結果と本年度調査・検討方針、調査結果速報
 - (3) 河道内樹林管理検討
 - ・これまでの検討結果と本年度調査・検討方針、調査結果速報
 - (4) 水量・水質検討
 - ・これまでの検討結果と本年度検討方針
 - (5) その他
 - ・今後の予定
4. 閉会

【配付資料】

- ◆議事次第 / 席次表
 - ◆資料 1-1： 木津川上流河川環境研究会・ワーキング 検討経緯
 - ◆資料 1-2： 第 24 回木津川上流河川環境研究会 指摘対応
 - ◆資料 2-1： 堰・魚道 縦断連続性再生検討 資料
 - ◆資料 2-2： 堰・魚道 横断連続性再生検討 資料
 - ◆資料 3： 河道内樹林管理検討 資料
 - ◆資料 4： 水量・水質検討 資料
 - ◆資料 5： 今後の予定
- (参考資料) 木津川上流河川環境研究会 設立趣意・規約

【審議内容】

(1) 木津川上流河川環境研究会について

事務局より、木津川上流河川環境研究会における検討経緯、および前回研究会（第 24 回）における指摘の確認と、その対応方針について説明を行った。

(2) 堰・魚道 連続性再生検討について

1) 堰・魚道 縦断連続性再生検討について

事務局より、堰・魚道 縦断連続性再生検討に関する本年度調査・検討計画、調査結果速報について説明を行った。議事の主な内容は以下の通りであった。

- ・各取り組みが、地域連携により実施されていることは評価できる。
- ・継続的に調査が実施されており、魚道内の流量調整を行うなどの工夫を行いながら調査されていることも評価できる。
- ・コクチバスが多く捕獲されており、今後のさらなる増加・拡散が懸念される。生息状況や再生産の状況について、実態把握することが必要である。
- ・本研究会での取り組みなど、いろいろな情報が集まっている。これらを整理し、連続性改善の必要性を整理し、堰管理者、漁協、地域等へどのように伝えていくかを考えていく段階にある。
- ・下流側の管理者である淀川河川事務所とも連携し、堰管理者などへ働きかける等の取り組みを進めていくことが必要である。
- ・高山ダムや比奈知ダムでは、陸封アユの生息が報告されており、ダムの放流に伴い下流へ流下しているということも示唆されている。これらの実態の把握・整理や下流への情報提供も必要である。

2) 上野遊水地 横断連続性再生検討について

事務局より、上野遊水地 横断連続性再生検討に関する本年度調査・検討計画、調査結果速報について説明を行った。議事の主な内容は以下の通りであった。

- ・落差解消のために設置した土のうは、どれくらいの期間設置しておくことを想定しているか。⇒今回は試験的な位置づけであるため、ある一定期間調査後に撤去する予定である。

(4) 河道内樹林管理検討について

事務局より、河道内樹林管理検討に関する本年度調査・検討計画、調査結果速報について説明を行った。議事の主な内容は以下の通りであった。

- ・流域全体の中で、管理目標の設定や優先的に対策が必要な場所の整理などを再度行い、今後 5 年から 10 年の計画を作成していく必要がある。
- ・これまで、伐採に加え、除根のみを実施した試験伐採はなかったため、この有効性について確認できるとよい。
- ・樹林伐採についても地域連携により取組んでいくことも有効であるため、上野遊水地での横断連続性 WS において樹林管理についても情報提供し、関心をもってもらうことも有効ではないか。

(5) 河川ダム水量・水質検討について

事務局より、河川ダム水量・水質検討に関する本年度検討計画について説明を行った。議事の主な内容は以下の通りであった。

- ・名張市北部浄化施設は未整備であるが、将来、水環境改善に寄与する事業である。施策としては、今後、コミュニティープラント、合併浄化槽、農業集落排水施設も含めて総合的に事業を進める必要があるが、これら整備の将来像を分かり易く整理して欲しい。

(6) その他

その他として、今年度の WG、研究会、イベントの開催予定について、事務局より説明を行った。

以上